

平成23年度 アクションプログラムの取組事例

No. 4

取 組 名	温根沼周辺におけるエゾシカ食害対策の取組
流 域 名	釧路根室
森林管理署等	根釧東部森林管理署
実 施 日	平成23年10月23日
実 施 内 容	根釧東部森林管理署は、根室市郊外にある温根沼周辺の環境保全を図ることを目的として平成18年3月に根室市及び根室湾中部漁業協同組合との間で「温根沼周辺の環境保全に係る森林整備協定」を結びました。 その後、本森林整備協定に基づき水鳥などが生息する温根沼の自然環境の保全とサケやアサリなどの水産資源の保続培養を目的として広葉樹の森林造成に取り組み、協定者や市民、小学生、中学生等が参加し、平成22年度までの5年間で温根沼周辺にケヤマハンノキ、ヤナギ等1,700本を植樹してきました。 平成23年度は10月23日に根室市立海星小学校の児童ら約70名が参加して、ケヤマハンノキ、ヤナギ等約220本を植樹するとともに、エゾシカによる食害が目立つことからエゾシカ食害防止ネットを取り付けました。
反 響 等	植樹祭等のイベントを通じて地域住民との連携を図り、参加する漁業者や地元小中学校の児童や生徒に対して森林の持つ多面的な生物多様性保全にも関心を持っていただいています。
参 考 資 料	
○食害防止ネットを取り付ける様子  ○ハンノキ全てに取り付けました 	